

ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo **637**

2025.5



2025 年 5 月 1 日 (毎月発行) 定価 200 円 637 号通巻第 637 号第 55 巻第 5 号発行/新建築家技術者集団東京支部
発行人／杉山昇 〒162-080 東京都新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3 階 tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9811
ホームページ <https://nu-ae.com/tokyo/> E-mail shinken-tokyo@group.email.ne.jp

03 旧東伏見宮葉山別邸 改修現場見学会報告	伊藤寛明
04 旧東伏見宮葉山別邸 改修現場見学会報告	川田綾子
06 東日本大震災から 14 年、宮城県を訪れて	山下千佳
08 全国代表幹事＋常任幹事懇談会 in 那須	杉山昇
09 第 53 回「地球温暖化について考える」	渡辺政利
11 鋸屋根に魅せられて	吉田敬子
13 アジアンニュース No.28	T N
15 「中野ブロードウェイの見学会」のお知らせ	石原重治

今月の表紙 提供：山下千佳

石巻南浜津波復興祈念公園内に
ある円形の建物は円形の建物は
2021 年 6 月にオープンした「みやぎ
東日本大震災津波伝承館」です。
「かけがえのない命を守るために、未
来へと記憶を届ける場」をコンセプト
に、パネルや映像で東日本大震災の
被害と教訓が表されています。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部

- ◎06/12 木 19:00 事前勉強会「中野ブロードウェイの歴史と魅力」@ZOOM
- ◎06/14 土 13:30 中野ブロードウェイの見学会 @ブロードウェイ入口集合
「中野ブロードウェイ」と今日の都市再開発を考える

全国

- ◎04/26 土 ソーラーシェアリング見学会（環境と建築研究会）（高田）
- ◎05/15 木-16 金 能登半島地震被災地の訪問＋全国災対連現地調査
- ◎09/ 全国幹事会
- ◎10/25 土-26 日 建築とまちづくりセミナー-in 仙台
- ◎11/29 土 全国大会

会員及び交流団体 詳細は（ ）に記載された会員へお問い合わせください。

- ◆05/31 土 10:30 防災地下神殿見学ツアー 建交労東京建設・関連部会（笹原）
- ◆05/24 土 第 130 回 住まいとまちづくり講座 @板橋区立板橋地域センター
「築 50 年！ 耐震補強工事完成－講義と外観見学会」（山下）
- ◆07/26 土-27 日 第 67 回自治体学校 in 東京 @日本教育会館&明治大学（千代崎）

祝!!! ホワイエに連載していただいている吉田敬子さんの「ノコギリ屋根工場」が 2025 年日本建築学会文化賞を受賞されました。おめでとうございます。

「全国的なノコギリ屋根工場の写真記録を通した 建築文化発信と普及活動」

建築写真家・吉田敬子氏は、1998 年から日本各地に残るノコギリ屋根工場を記録し続けてきた。吉田氏は、ノコギリ屋根建築を産業遺産として位置付け、無名の建築を発掘し、この分野を開拓してきた。各撮影現場では建築的魅力を共有する関係者どうしの交流を生み出し、建築文化を育むきっかけも創出してきた。記録写真にとどまらない作品性に優れた写真を通した建築文化の発信と普及活動は大変意義深く、高く評価されるものである。（建築学会のホームページ抜粋）



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp



撮影：エンジョイ・ワークス

旧東伏見宮葉山別邸 改修現場見学会について

2025年4月5日（土）東京支部主催、神奈川支部共催にて開催された、旧東伏見宮葉山別邸の改修現場見学会へ参加しました。1914（大正3）年竣工という110年を超える木造2階建であり、2017年には国登録有形文化財に指定された建物の改修とあり、興味深く拝見しました。新建の代表幹事であり、実際の保全を手掛ける団体「一般社団法人 La Casa Blanca Hayama」の代表理事でもある丸谷博男氏による解説、改修に至る経緯などをお聞きし、実際に改修中の現場を見て回りました。

設計は木子幸三郎（きごこうざぶろう）が宮内省内匠寮時代に嘱託として担当したとのこと。意匠的には華美ではなく全体としてもスッキリとした印象で、その中にも細かいこだわりが見え隠れしていました。外壁や西側サンルームとして外壁扱いとなっている壁（ドイツ下見板張り）の寸法が高さによって変化していたり、それを留める金物、上げ下げ窓の機構や、建具についている通風用ルーバーの開閉金物など、設計の工夫が随所に見られました。1階の天井高が約4m弱あり、木造とは思えない洋館としてのスケール感が心地良さと開放感を生んでいるのだと思いました。2階に突如現れる2部屋の和室には多少の違和感を感じましたが寄棟屋根としている小屋裏の木組みトラスの複雑さなど、木造として洋館を成立させるための当時の設計の苦勞に思いを馳せていました。

今回の改修にあたり、国登録有形文化財としての制約や耐震に関することなどの苦勞もお聞きし、古い建築を維持することの難しい時代にある中での、とてつもない挑戦であると感じました。今後の運営管理も順調に行くことを願う次第です。（伊藤寛明）

旧東伏見宮葉山別邸 改修現場見学会 2025年4月5日（土）開催

報告 川田綾子（東京支部）

晴れやかな春の週末、JR 逗子駅からバスで向原バス停で下車、歩くこと数分、幹線道路から小道を少し上がると、丸谷博男さんが笑顔いっぱい両手を振って迎えてくれました。葉山町に現在残る唯一の皇族別邸、旧東伏見宮依仁親王の別邸（以下、葉山別邸）改修現場を案内していただきました。

葉山は、横須賀港から近いため、最盛期には御用邸を含めて五家の皇族別邸が建ち並んでいたそうです。葉山別邸は、大正三年建築、木造二階建て、緑青色の銅板葺き屋根と真っ白なドイツ下見板張りの外壁、春の青空と背後の緑に美しく映え佇んだ洋館です。戦後、イエズス孝女会に引き継がれ、修道院・幼稚園として使われ、現在も別邸の前に園舎と園庭があり、地域の方には馴染みのある場と想像できます。



桜満開 正面の幼稚園の奥に別邸があります

1976年と1987年の2度の改修を経て、2017年に国登録有形文化財に指定。百十年を経て老朽化が進んだことから、建築物と別荘含めた葉山の文化を後世へ継承すべく、地元の有志を中心に「一般社団法人 La Casa Blanca Hayama」が2024年に設立され、改修や利活用計画が短期間で練り上げられました。新建東京支部代表幹事の丸谷さんは、この法人の理事長であり、改修の総合設計監理者でもあります。館内を丁寧に案内くださいました。

1914年当初の設計は木子幸三郎さんという宮内省の技師で、細部に渡るこだわりが外壁にも内装や建具にいきわたっています。1階2階ともに室内を囲んで二方向を巡るサンルームが特徴的です。この壁も外壁と同じ下見板張りですが、それぞれの板のサイズが異なり、単調にならないユニークな効果を出しています。

私が目を奪われた仕掛けを二つご紹介します。一つは壁に埋め込まれた梯子。窓の開け閉めや掃除のためと思いますが小さな金具に気づいて開けてびっくりでした。使う人、そして手入れする人への視点を持った設計者の心配りを感じました。

二つ目は屋根裏へのらせん階段。銅板リベット仕様のしつらえの美しさに見とれつつ、ここを上った屋根裏には、そうです！輻射連暖房ソラドマの動脈があるのです。銀色大蛇のようにうねり張り巡らされたsoradoma（ソラドマ）のダクトが有機的に設置されていました。



下見板のサイズがそれぞれ異なります

百年超の歴史と細部のこだわりを保存しながら、実際には三階分のボリュームある洋館、当初の図面と二度の改修時の記録等は限られており、耐震性・耐久性・将来的な維持管理など、多くの課題を抱える改修に挑む丸谷さんの思いは計り知れません。壁面の傷み、構造体の腐食など、古い建築物の

劣化への対処と共に、国登録有形文化財として歴史的な意匠やしつらえを保存するために、多くの観智が駆使されています。神奈川県ヘリテージマネージャー協会が事前に緊急調査を行った上で、さらに工事期間内に再調査を行い、実測図が作成されています。

事業と資金について、プロジェクトを担う「エンジョイワークス」(以下、EW)の資料から少し触れておきます。資金は、令和六年度観光庁「歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業」の採択による約6千万円の補助金と、EWによるファンド約1億円の出資金です。ファンドは約5年程の運用期間で出資者への分配が予定されています。改修後は会員制の貸し切り施設として、結婚式、コンサート、発表会、企業研修、記念日等のパーティーなど、一棟ごと活用することを想定しています。施設運営するEWの子会社グッドネイバースがイエズス孝女会と定期賃貸借契約を締結し賃料を原資としたファンド収入源となります。

EWでは、こうしたプロジェクトや理念に賛同した個人が資金を投資したり活動に参加したりして、企画段階から事業に関わる仕組みとして、地域活性化クラウドファンディングによるリノベーションを全国で展開しています。

見学会のあとは、築百年の古民家を改修した「楚々葉山」にてカフェランチで懇談。広いお庭は寝ころびたくなるような芝が広がっていました。すぐ近くは森戸海岸、ヨットやSAPの人たちと、風にたなびくワカメ干し、新旧文化がバランスよく溶け込む葉山のまちを体感する1日でした。



階段踊り場の壁面に埋め込まれたはしご



美しい曲線のらせん階段
上がると小屋裏へ



2階のサンルームを見学中



集合写真！ありがとうございました



丸谷さんの講話に聞き入る参加者

東日本大震災から 14 年、宮城県を訪れて

山下千佳(新建災害復興支援会議)

東日本大震災は、2011 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分に発生したマグニチュード 9.0 の地震で、日本国内の観測史上最大規模のものでした。岩手県、宮城県、福島県を中心に広範囲で巨大津波が発生し、甚大な被害をもたらしました。震災関連死を含め、死者・行方不明者は 2 万 2,000 人に上りました。震災から 14 年となる今年、秋に「建築とまちづくりセミナー in 仙台」の開催が決まり、その相談も兼ねて、4 月 2 日～3 日にかけて宮城県内を新井隆夫さん(群馬支部)、千代崎一夫さんと山下(東京支部)で訪ねました。2 日は名取市閑上に行ったあと、欠陥住宅全国ネットの吉岡和弘弁護士と短時間お会いし、その後に仙台市青葉区上杉にある「一般社団法人 宮城県マンション管理士会」の萩原孝次さんとお会いして、当時のマンション被害と相談や支援、行政に対する働きかけなどのお話を伺いました。夕方はホテル白萩で宮城労連議長の高橋正行さん、宮城支部の岩渕善弘さんと佐々木文彦さんと食事をしながら、セミナーの相談をしました。訪問先とその印象を紹介します。

写真はホームページに掲載 <https://nu-ae.com/250402miyagi-report/>



名取市震災復興伝承館（名取市）

東日本大震災による津波被害の実態や復興の歩みを伝える施設。名取市では震災により 954 人が亡くなり、うち 749 人が閑上地区の方々でした。展示物ひとつひとつに込められた「忘れない」という強い思いが、静かに心に響きました。震災前の閑上のまちの模型から、賑わっていた様子が伝わってきました。

近くの「かわまちてらす閑上」にも立ち寄りましたが残念ながら定休日の店が多かったです。

閑上保育所（名取市）

津波に襲われた閑上保育所は、保育士たちの迅速な判断と行動により、園児たちは無事避難できました。名取市震災復興伝承館のパネルに詳しく紹介されていました。命を守ろうとする大人たちの責任と勇気を改めて感じました。

みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市）

三陸沿岸に残る震災遺構や防災教育を担う施設。被災地から集められた数々の記録に触れることで、自然災害への備えの大切さを再認識しました。たくさんの資料をいただきました。

石巻市震災遺構 門脇小学校（石巻市）

津波と火災により甚大な被害を受けた小学校で、そのままの状態で遺構として残されています。有料で校舎内に入ることができます。焼け焦げた校舎に立ち尽くすと、言葉を失いました。「逃げる」という選択の難しさと、避難の重要性を痛感しました。



石巻市震災遺構 大川小学校（石巻市）



大川小学校は、津波によって児童・教職員 84 人が犠牲になった場所。石巻市全体でも、死者・行方不明者は 3,800 人を超え、国内でも最も多い犠牲者数となっています。

ここでは、語り部の方の話を通して、「過去から何を学び取るか」が今を生きる私たちに強く問われていると思いました。

石巻市十三浜地区（石巻市）

かつては漁業が盛んだった十三浜。津波で壊滅的な被害を受け、十三浜地区を離れた方、高台に移転された方がいます。佐々木文彦さんの自宅兼事務所も津波に流されて R C 造の高基礎のみが残りました。再建された事務所と祖父が植林した木で建てられたというご自宅を訪問しました。



昼食：北上川テラス 七間倉



4 月 3 日の昼食は、佐々木さんに紹介していただいた石巻市北上町十三浜にあるカフェレストラン「北上川テラス 七間倉」でいただきました。

このお店は、大正 4 年（1915 年）に建てられた米倉を移築・改装した建物で、国の登録有形文化財にも指定されています。店内は梁が見える高い天井と大きな窓が特徴で、北上川の河口や追波湾を一望できる絶好のロケーションにあります。



メニューは、地元の特産品を活かした料理が中心です。とてもおいしかったです。

最後に

あいにくの雨でしたが、静かな雨音の中、街は少しずつ賑わいを取り戻しているのを感じました。けれど、失われた命、変わってしまった景色、そしてあの日の記憶は、今も確かにそこにありました。ご家族を亡くされた方と家や財産を失っても、ご家族が無事だった方の時間の流れ、再建や復興の違いから、災害で命を失わないための建物やまちづくりを改めて考えて、専門家としても防災・減災を実行していかなければならないと肝に銘じることができました。

また、被災地を訪ねて「記憶を風化させないこと」「未来の命を守るために伝え続けること」が大切で、10 月 25 日-26 日に開催される「建築とまちづくりセミナー in 仙台」も、この思いを胸に次へとつなげていきたいと思います。

新建全国代表幹事＋常任幹事懇談会 in 那須

去る4月12日（土）～13日（日）、「那須まちづくり広場」において、新建の全国代表幹事＋常任幹事懇談会が行われ、20名が参加しました。

指定された時間に福島県南端の南端：白河市の新白河駅に集まり、4人一組でタクシーに乗って約20分の栃木県北端の那須町にある「那須まちづくり広場」に行きました。

国道4号線に入って、すぐですが、周りは山ばかりのかつての小学校の校舎と運動場を活用して、自立者を対象にしたサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）や要介護者向けサ高住、デイサービス施設、カフェなどに生まれ変わっています。

その中のかつての教室を改造した会議室で、懇談会が開催されました。新建の全国組織でも、会議で顔を合わせる代表幹事・常任幹事の皆さんが、会議ではなく、「懇談会」ということで一堂に会するのは珍しく、それぞれ喜んでおられました。

懇談会とはいえ、それぞれ各地で頑張っておられる皆さんですから、いろいろな意見を出しておられました。＊西山卯三さんの食寝分離論について、＊高齢者住宅が空いてきている⇒多世代型住宅に転換すべきだ、＊タワーマンションはいろいろな問題がある、＊人間があたり前に暮らせる社会を新建でつくろう、など・・・。

夕食は、11人が宿泊する「みとりえ」という建物のほうでいただき、じっくりと話し合いました。終戦前に生まれておられたお二人：藤本昌也さんと山本厚生さんが、向かい合って席につかれ、お二人とも満州で終戦を迎えられ、帰国された経歴があり、そのころのお話で盛り上がっていました。

翌日は、午前10時から「那須まちづくり広場」の鏑木さんにここのできた経緯などをお聞きし、ふたたび懇談会をしてから昼食をいただき、午後1時に解散となりました。
（オブザーバー参加：杉山 昇）



第 53 回 「地球温暖化について考える」

渡辺政利

「日本の気候変動 2025」予測

文部科学省と気象庁は、今年（2025 年）3 月 26 日、「日本の気候変動 2025—大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書—」を公表しました。この報告書は、環境省が「気候変動適応法」に基づきおおむね 5 年ごとに作成する「気候変動影響評価報告書」へ科学的知見を提供するなど気候変動対策の根拠となることを目的に作成するものと説明されています。気象庁による概要説明をネットで検索すると内容概略が以下のようになっています。（一部カッコ内、渡辺が書き加え）

- ・日本における極端な大雨の発生頻度や強度の変化（気温は全国平均）
 - 工業化以前に 100 年に 1 回現れていた大雨は、（20 世紀末には 1.5 回であったものが）気温が 2℃上昇した場合 100 年に約 2.8 回、4℃上昇した場合約 5.3 回増えると予測（気温上昇が 1.5℃上昇の場合約 1.5 回）
- ・日本における極端な高温の発生頻度や強度の変化
 - 工業化以前に 100 年に 1 回現れていた高温は（20 世紀末には 10 回であったものが）、世界平均気温が 2℃上昇した場合 100 年に約 67 回、4℃上昇した場合 100 年に約 99 回増えると予測（気温上昇が 1.5℃上昇の場合約 38 回）
- ・日本近海海域における地球温暖化の進行具合を示す溶存酸素量の長期変化
 - 溶存酸素量の長期的な減少が日本南方海域にて世界と同程度かそれ以上の速さで進行
- ・日本における年平均気温が 1898～2024 年の間に 100 年当たり 1.40℃の割合で上昇

温暖化進行に伴う気温上昇が進行のままにされれば、気温 2℃上昇で大雨の頻度が 3 倍近くに、気温上昇頻度も極めて多くなって「暑い地球」が現実になります。昨年世界平均気温が産業革命以前に比べて 1.5℃を超えたとされています。世界各地で CO₂など排出量を減らす努力は始まっていますがまだまだ不十分で、このままでは地球上の居住環境は人類生存を脅かすことになる予感がします。

気温上昇に伴う気候の変化と火災

地球上の気温上昇に伴って、世界各地では激し

い降雨の一方で厳しい乾燥が交互に起きる気候変動が進行しています。この間の報道でも欧州における洪水や、韓国、オーストラリア、カナダ、アメリカ・ロスアンゼルスなどで乾燥に伴う過去最大級の山火事などが発生、大々的に報道されました。日本でも岩手県・大船渡市、愛媛県・今治市や岡山市などで気候乾燥に伴う極めて大規模な山林火災が発生して大変驚かされました。

大船渡市の山林火災（日経新聞ネット情報）

2025 年 2 月 26 日発火、2 週間弱の間に市全体の約 1 割に当たる約 2900 ha を焼失。平成以降国内最大の山火事となった。大火となった原因は記録的干ばつの中、三陸海岸の急峻な地形と強風のため火災初期の燃え広がりが早く、消防隊によるコントロールが出来ないままに 26 日だけでも 600 ha 以上が焼損。28 日には約 1200 ヘクタールにまで広がったと言われます。大船渡市の 2 月の降水量は 2.5 mm ほどで、平年のわずか 6%。1964 年の気象観測開始以来最少であったとされます。現地では 3 月 5～6 日に雨が降り火の勢いは弱まって 3 月 9 日に鎮火宣言がされました。

今回の山林火災は約 2900 ha という異例の規模に燃え広がったが、これまで国内では 100 ha を超える山林火災はまれで、1992 年北海道釧路市で発生した大規模山林火災では焼失面積が約 1030 ha が最大であった。今回はこれを遙かに上回って平成以降日本最大規模の山林火災となったとされます。林野庁ホームページの公開によると 02 年以降では 17 年 5 月岩手県釜石市の 413 ha が最大。今回の山林火災の規模が桁外れの大きさであったことが読み取れます。

岡山市と今治市の山林火災（読売新聞オンラインから拾い上げ）

岡山市と今治市で 3 月 23 日に発生した山林火災では岡山県内で約 565 ha、愛媛県で約 442 ha と極めて広範囲に広がり、民家など計 28 棟が消失。発災から 5～8 日後には延焼の恐れがない鎮火状態になりました。通常の上火事では地表に積もった枯れ草などが燃える「地表火」に留まることが多いが、これらの火事では樹木の上部や先端

部が燃える「樹冠火」となりました。地表火では火の粉が飛ぶ距離が数十m程度ですが、火勢がまして樹冠火に発展すると燃焼に伴う上昇気流によって1～2kmの範囲まで飛び火して、火災は急速に広がり消火が追いつかなかったとされます。今冬以降大陸からの季節風の影響で乾燥しやすい状態が続いており、岡山・松山両地方気象台によると1週間ほどまとまった雨はなく、火災発生当日の最大瞬間風速も14m/s超、四国山脈を越えた乾燥空気が流れ込んで火の勢いを強めたとされます。火災でむき出しとなった斜面は保水力が弱く、梅雨時期の大雨で土砂災害につながりやすいことが心配されます。

消防庁によると林野火災は2019年～23年の5年間で年平均1279件、月別では4月が最多としているようです。

オーストラリアの森林火災

オーストラリアでは2019年9月から大規模な森林火災が多発し、2020年2月まで続いたとされます。2019年は平均降水量が観測史上最も少なく乾燥していました。加えて、平均気温も過去最高を記録。12月には記録的熱波が発生。9月頃から南東部ニューサウスウェールズ州を中心に森林火災が頻発。乾燥・高温・強風の条件が重なり全国的に猛威を振るったとされます。非常に広範囲の火災で特にサウスウェールズ州では2019年9月頃から100件以上の山林火災により大きな被害が出始め、夏期の1月・2月を前にして被害は甚大となり、2020年1月には類焼面積10,700ha以上、建物被害は住宅被害2000棟以上を含む5900棟以上、死者は29名とされます。オーストラリアに生息する野生生物の哺乳類、鳥類、爬虫類が死滅し、生息地の焼失による消滅が心配されています。

カナダの森林火災（NHK ネットニュース）

カナダでは2023年大規模な森林火災（山火事）が発生し、日本の面積の4割に当たる15万km²が焼けたとされます。煙は国境を越えニューヨークなどアメリカの東部まで流れて深刻な大気汚染を引き起こしました。アメリカの研究チームによる人工衛星などを使った研究で、この火事で2023年5月から9月までのあいだに放出された二酸化炭素などに含まれていた炭素の量は推定でおおよそ6億4700万トンとされ、この量は、2022

年各国が石油などの化石燃料使用で1年間に排出した炭素の量と比較すると5位の日本を超え、3番目のインドに迫る量だったとされます。研究チームによるとこれら火災の原因は、2023年カナダは記録的暑さに見舞われ極度に乾燥していたこととされます。このままでは2050年代には大規模な山火事が珍しくなくなり、二酸化炭素の吸収を期待されてきた広大なカナダの森林がその機能を大きく損なう可能性があるという警告をしています。

欧州の豪雨・洪水（読売新聞・ロイターネット情報）

欧州では2024年、1950年に気象観測開始以来最大級の雨が降ったとされます。これらの雨で河川の30%以上が被害を受け、豪雨や洪水で少なくとも335人が死亡、41万人が影響を受けたとする報告書を、欧州連合（EU）の気象機関「コペルニクス気候変動サービス」と世界気象機関（WMO）が4月15日に公表。西欧では24年、著しく多い量の降雨を観測。10月にはスペイン東部バレンシア州を中心に豪雨となり、過去数十年間で最悪規模の洪水発生など各地で被害が相次いだとされます。家屋の倒壊や農地の被害で180億ユーロ（約3兆円）の経済損失と試算。その一方で、異常気象は欧州全域で観測され、南東ヨーロッパでは史上最長となる13日間の熱波に見舞われ、スカンジナビア半島の氷河は最も速いスピードで縮小。大陸全体で高温による健康被害が増加したとされます。

ロスアンゼルス周辺の山林火災

アメリカ西部カリフォルニア州太平洋沿岸には「サンタアナの風」と言われる局地的に吹く風があつて「悪魔の風」とも言われるように風向きの予測が難しく、風速が160km/時（44.4m/s）にもなるとされます。この風が吹く今年の1月7日南部海岸で4カ所の山火事が発生して延焼し、12日までに焼失した面積だけでサンフランシスコ市の面積121.4平方kmより広い160平方kmに達したとされます。この面積は東京23区の4分の1ほどとなり、全焼住宅が12000軒に達し、人命被害も29人。消防当局は1月31日ようやく完全鎮圧と宣言。経済的損失は2500億ドル（39兆円）を超えと予測されているようです。いずれにしてもアメリカ史上最大規模の森林火災とされているようです。

（つづく）

鋸屋根に魅せられて

鹿児島県鹿児島市 写真家 吉田敬子

九州新幹線の部分開業（鹿児島中央駅－新八代駅間）に合わせて、鹿児島中央駅に隣接した大型駅ビル「アミュプラザ鹿児島・本館」が2004年開業しました。屋上には赤い観覧車があり、桜島や錦江湾、鹿児島市内を一望でき、市のランドマーク的な存在になっています。

「アミュプラザ」の名称は、人を楽しませるという意味の英語「amuse（アミューズ）」からきているそうです。2014年には「プレミアム館」が開業しています。私は「アミュプラザ鹿児島」の仕事で鹿児島中央駅に向かいました。東京からの移動は前日から入り準備をします。当然、頭の隅には鋸屋根です。鹿児島と言えば「大島紬」です。その織元を訪ねたくて、鹿児島市観光協会を訪ねました。元々は、奄美大島が産地でしたが戦争が激しくなり、疎開した奄美の職人さんたちが、そのまま住んだことで、鹿児島本土や宮崎県都城市も本場大島紬の産地となったといいます。藤絹織物株式会社の「奄美の里」という大島紬の博物館を紹介してくれました。1974年（昭和49）大島紬の製造工程を実際に見ることができる、産業観光施設として開館したので、訪ねてみて下さい。とパンフレットを頂きました。鹿児島中央駅より指宿枕崎線いぶすきまくらぎせんに乗り谷山駅下車の予定で出発です。車窓からは商業施設のビルやマンションに続き「のこぎり屋根」です。目を疑いました。間もなく「郡元駅」です。下車です。

カクイ株式会社第2工場：14連鋸屋根（2004年撮影）



鹿児島中央駅を出発して数分後です。突然姿を現したのは「鋸屋根」です。私が反射的に下車した駅は郡元^{こおりもと}です。線路沿いに建つマンションの共用通路からは迫力ある14連鋸屋根が見えて感動していると指宿枕崎線^{いぶすきまくらぎせん}の黄色電車が通過して、最高の眺めでした。訪ねると日曜日で休日でした。しかたなく眺めていると工場に人がいました。訪ねると社員さんでした。私は短く自己紹介をすると「屋根を撮影したいとは珍しい。外側ならいいよ。」と許可を貰い工場の話聞くことができました。カクイ株式会社は1881年(明治14年)原綿問屋として創業。1898年(明治31年)磯紡績所よりローラーカード(梳綿機・打綿機)の紡績機を払下げ日本で初めて洋式機械による製綿を開始。梳綿^{そめん}とは、もつれあった繊維をときほぐして1本1本の繊維に分離すること。家内工業的な打綿方法しかなかった中で、近代的な機械化をとり上げた試みは、製綿業界の一大革命でした。1931年(昭和6年)ここ、郡元町唐湊に第2工場を設置しました。貴方が好きで撮影したい鋸屋根工場ですよ。私が好きなのは「カクイわた」の看板です。子守をする女の子が描かれた「ねんねこ」看板は可愛いですよ。昔は綿布団でしたから、他社にもそれぞれの看板がありました。と会社の事を手短かに説明された人は、工場で働くベテラン職人さんでした。帰る途中で見ました。「ねんねこ」看板、可愛い絵でした。

写真説明:上より大型駅ビル「アミュプラザ鹿児島」指宿枕崎線沿いのカクイ株式会社の14連鋸屋根



社会・経済(2)

ベトナムでは、昨年の11月から今年の1月にかけて、私から見れば重大な経済上の決定を行いました。一つは、南北高速鉄道です。もう一つは、原子力発電所の建設をニントゥアン省で行うというものです。そこで現在のベトナム経済の指標となるいくつかの記事（自動車保有率・医療保険加入率・最低限の生活費・海外派遣労働者・ハノイ市の公示地価など）を VIETJO 記事で掲載します。(TN)

アジアニュースNo.28
(ベトナム中心) TN

経済 原子力発電所、30年までに稼働目指す 首相指導 2025/01/17 06:48 JST 配信

- 原子力発電所建設指導委員会の初会合
- 30年までに原発を竣工・稼働するよう指導
- 人材の確保に向けて教育訓練計画を提案



ファム・ミン・チン首相は15日、原子力発電所建設指導委員会の初会合を主宰した。首相はこの席で関係者に対し、2030年までに原子力発電所を竣工・稼働するよう指導した。(中略)

首相は、原子力発電所建設プロジェクトに携わる人々にサービスを提供すべく、同プロジェクトの予定地となっている南中部沿岸地方ニントゥアン省の人民委員会に対し、タインソン空港を建設するなどしてインフラ整備を強化するよう指導した。

原子力発電所建設指導委員会は10日に発足し、チン首相が委員長を務めている。



統計 24年の海外派遣労働者数 15.9万人、日本向けが最多 7.2万人 2025/02/06 05:17 JST 配信

- 前年比▲0.87%減の15万8588人を派遣
- 通年計画を26.9%上回る
- 毎年平均約15万人を40か国・地域に派遣

労働傷病兵社会省傘下の海外労働管理局(DOLAB)の発表によると、2024年にベトナムから海外に派遣された労働者数は前年比▲0.87%減の15万8588人で、通年計画を26.9%上回った。

派遣先で見ると、日本が7万1518人で、トップを維持した。以下、◇台湾:6万2282人、◇韓国:1万3649人、◇中国:2335人、◇シンガポール:1544人、◇ルーマニア:1023人、◇ハンガリー:759人、◇サウジアラビア:660人、◇ロシア:591人、◇香港:582人、◇アルジェリア:397人、◇マカオ:346人、◇ポーランド:331人などと続いた。

近年、ベトナムは毎年平均約15万人を40か国・地域に派遣している。



経済 ハノイ:公示地価を更新、1平米最高429万円 2024/12/26 06:50 JST 配信

- 12月20日即時施行、25年12月31日まで適用
- ハノイ市の公示地価、大幅に引き上げ
- ハイバーチュン通りやハンダオ通りなど

ハノイ市人民委員会は20日、市内各地の公示地価を規定する決定第71号/2024/QĐ-UBNDを発出した。同決定により、同市の公示地価は大幅に引き上げられた。

都市部の住宅用地のうち1m²当たりの公示地価が最も高いのは、中心業務地区(CBD)のハイバーチュン(Hai Ba Trung)通り(レタイントン=Le Thanh Tong 通り~クアンスー=Quan Su 通り区間)、ハンダオ(Hang Dao)通り、ハンカイ(Hang Khay)通りなどで、6億9530万VND(約429万円)となっている。引き上げ幅について、ハンダオ通りの公示地価は3.7倍に引き上げられ、ハンカイ通りは5.2倍、ハイバーチュン通り(レタイントン~クアンスー区間)は5.4倍に引き上げられた。



公示地価は、◇土地使用料・土地譲渡税の算出、◇国営企業の株式会社化の際の資産評価、◇当局が国防・安全保障・公益の目的で土地を収用する際の立ち退き補償額の算出などの目的に使用されるもの。

社会 ホーチミン:18.5 万人が 4 平米未満の下宿暮らし、面積基準満たさず 2024/12/19 17:16 JST 配信

- 下宿施設約 6 万軒が 62.9 万部屋を供給
- 88.2%は 4m² の最低床面積基準満たす
- 11.8%は基準満たさず、約 18.5 万人が居住

ホーチミン市テレビ局(HTV)の番組「Dan hoi – Chinh quyên tra loi(市民が問い、当局が答える)」で、市民から市内の貸し部屋(下宿)の現状について、1 人当たり 4m² の最低床面積の基準を満たしている下宿は何戸あるのか、との質問があった。

同市建設局の 2024 年の調査データによると、約 6 万軒の下宿施設が 62 万 9000 余りの下宿部屋を供給している。このうち約 55 万 5000 戸(88.2%)は 4m² の基準を満たしているが、7 万 4000 戸(11.8%)は満たしていない。基準未達の下宿は 7 区・12 区・タンフー区の各区と同市直轄トゥードゥック市に集中しており、部屋を借りている人は約 18 万 5000 人いる。建設局はこの問題を解決するため、下宿施設のオーナーに基準の達成に向けて改築や改修を行うよう要請したが、同時に住民の生活に支障をきたさないよう、直ちに解体や閉鎖といった措置を取らないよう求めている。同局は、オーナーに対する優遇融資や金利引き下げ、電気・水道料金への補助金、優遇税制などの支援策も提案している。



経済 24 年のベトナム縫製・繊維製品輸出額、世界 2 位に浮上 2024/12/30 13:22 JST 配信

- 輸出額は前年比+約 11%増の 440 億 USD
- バングラデシュの政治混乱で輸出額増加
- 25 年の輸出額予想は 455 億～460 億 USD

2024 年におけるベトナムの縫製・繊維製品輸出額は前年比+約 11%増の 440 億 USD(約 7 兆円)となり、インドに次ぐ世界 2 位に浮上する見通し。ベトナム繊維・衣料グループ[VGT](Vinatex)が先般開かれた記者会見で明らかにした。

VGT のカオ・フウ・ヒエウ社長によると、ベトナムの繊維・縫製業界は 2024 年中、世界経済の低迷やインフレ、政治的不安定の影響などにより多くの困難に直面。しかし、下半期に縫製輸出大国であるバングラデシュの政治的混乱を受けて受注件数が増加したことで、輸出額が拡大したという。

2025 年見通しについて、主要輸出先である米国・EU の経済回復や、トランプ次期政権の対中国関税政策がベトナムの繊維・縫製業界の輸出拡大を促進させる見込み。25 年のベトナムの縫製・繊維製品輸出額は前年比微増で 455 億～460 億 USD(約 7 兆 2000 億～7 兆 3000 億円)と予想されている。



経済 電力供給量、24 年は前年比+10%増 25 年は+12%増の見通し 2024/12/26 18:08 JST 配信

- 25 年の電力供給量、+12.2%増の 3475 億 kWh
- 24 年の電力供給量、+10.1%増の 3097 億 kWh
- 24 年の電力供給計画を 2.0%上回る

商工省によると、2025 年におけるベトナムの電力供給量(発電量と輸入量)は前年比+12.2%増の 3475 億 kWh に増加すると予想される。国内の総発電容量(屋根置き太陽光発電を除く)は同+6.2%増の 8 万 2097MW に拡大するものと見込まれる。

同省は、乾季の降雨量不足による水力発電量の減少や、猛暑による電力需要増などの場合に備えて、供給確保の対策に予め取り組む構えを示した。なお、2024 年の電力供給量は前年比+10.1%増の 3097 億 kWh に増加し、同年の電力供給計画を 2.0%上回ったと推定される。電力供給量が確保され、社会経済の発展や国民生活のニーズにも十分対応できたとみられる。



🌻 見学会のお知らせ 🌻

「中野ブロードウェイ」と今日の都市再開発を考える

築 60 年を超え、今も多くの人々を惹きつける「中野ブロードウェイ」。かつての先進的な都市型複合施設は、今や“オタクの聖地”として世界的にも知られる存在へと変貌を遂げています。一方、中野駅周辺では「百年に一度」とも称される大規模な都市再開発が進行中。かつてのランドマークであった中野サンプラザも、計画の見直しが報道されるなど、再開発のあり方が問われています。

本見学会では、中野ブロードウェイの歴史と現状を実際に歩いて体感し、現在各地で進められている再開発との対比を通じて、これからのまちづくりのヒントを探ります。

📅 **日時: 6 月 14 日 (土) 13:30 集合**

📍 **集合場所: 中野ブロードウェイ入口 (中野駅北口より徒歩 5 分)**

📺 **事前勉強会 (オンライン): 6 月 12 日 (木) 19:00～**
テーマ: 「中野ブロードウェイの歴史と魅力」



中野ブロードウェイ全景

(手前は地下掘削中の中野サンプラザ)

6/14 ○スケジュール

13:30 集合: ブロードウェイの見学会入口

* 中野駅の北口から徒歩で 5 分です。具体的には、駅の北口 (中野サンプラザ側) を出て、
中野サンモール商店街に入り、商店街を進むと左手にブロードウェイの入口

見学 ● 屋上庭園 (予定)

(通常はマンション居住者しか見られません)

● 地下 1 階～4 階 (各自で見学)

15:00 ブロードウェイ入口に再び集合

周辺のまちをみながら、中野サンプラザへ移動
中野サンプラザの外観を見る。

16:00 感想 意見交換



中野ブロードウェイ HP より

○参加費: 500 円 (新建会員は無料) * 6/12 オンライン事前勉強会は無料

○問い合わせ・申込先 (ZOOM の URL を返信します)

メールに区分 (①事前勉強会 ②見学会) お名前・所属・電話番号をお書きください。

新建東京支部メール shinken-tokyo@group.email.ne.jp 電話 03-3260-9810

主催: 新建築家技術者集団東京支部 (東京問題研究会)

住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替「アリシア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
<http://www.zo-3.info>

株式会社 **象地域設計**

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

WHY?

え？

広告主募集中です！

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東) 台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩) 日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728